復興応援団だより

2018.10/NO78
発行元：
一般社団法人
復興応援団
代表:佐野哲史
広報チーム
090-1398-3510

キッズデザイン賞受賞

「そなえるカルタ」と「そなえるドリル」

この度、私たち復興応援団が三菱地所レジデンス株式会社と協力して制作した自主防災ツール『そなえるカルタ』『そなえるドリル』が、第12回キッズデザイン賞〝子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門〟に選ばれました。この賞は、子どもや子育てに配慮する製品やサービスなどに贈られています。

今回賞をいただいた『そなえるカルタ』は「トイレ」「食糧」「情報」といった切り口で、現地で起こった実際の状況を伝え、『そなえるドリル』は子どもが思わずやってみたくなる要素を取り入れ家族ぐるみで取り組める仕立てになっています。両方とも被災された方の実際の経験談を基礎にして、周囲の人と話し合いながら「自ら考えて備える」機会の提供が目的です。

このような賞をいただきお力添えいただいたみなさまに改めて感謝申し上げます。今後とも世代や地域を問わず、被災地の叡智をますます発信していきたいと思います。

（東北大学　藤原成深）

東京・創価大で講義

9月24日(月)、創価大学の『社会貢献と経済学』の授業で、代表・佐野が講義を行ないました。

本講義では、復興に尽力された方々の具体的な取り組みや学生ボランティアの変化などをお話ししました。当時小学生で、震災のことをほとんど知らないという学生が多く聴講していましたが、佐野の話は現実味を帯びて響いたようです。学生からは「今日ほど自分だったらどうするのか考えた日は無かった」「状況を変えようと動き出せる現地の方の原動力はすごい」といった感想が寄せられました。

学生の中に自ら行動しようという意識が生まれ、充実した講義になりました。このような機会を通じ、現地の状況や取り組みに興味を持つ学生が増えるとしたら、私たちにとってこれ以上嬉しいことはありません。

（東北大学　戸田悠太）

復興応援塾

8月28日（火）、南三陸町観光協会の及川和人さんをお招きして「復興応援塾」を実施しました。

及川さんの「南三陸は元々地域が一丸となって観光に取り組んでいたので、震災後一か月足らずで仕事を再開できた」「ツアーの中身を会社ではなく地元の方が考えているので、他地域とひと味違ったアピールができている」とのお話がとても印象に残っています。

このプログラムは、南三陸ホテル観洋にインターンに来ている東京の大学生を対象として『現地の担い手から多角的に復興を学ぶ』をテーマに行なっており、今回で25期目になります。私自身、この日は復興にもいろいろな手法があるという新たな発見がありました。学んだことを今後の活動に活かしていければと思います。

（東北学院大学　渡邉聡太）

復興応援団とは？

私たちは「地元の方が主役の復興」を目指し主に南三陸町と多賀城市で活動しています。

南三陸町では、地元の復興の担い手の元に全国からボランティアを派遣。復興のお手伝いを通じて南三陸町の魅力に触れてもらい中長期的に復興を支える「ファン」になってもらう取り組みをしています。

多賀城市では、2012年4月より「復興応援団だより」を仮設住宅全戸にお届けするなど、住民のみなさんが中心となったコミュニティづくりを応援しています。

このような活動を通じて地元の人自身が復興とまちづくりに立ち上がる大きなうねりを起こすことを目標としています。

公営住宅の催し ～②宮内・桜木～

前回に引き続き、公営住宅で定期的に行なわれている催しを紹介します。今回は宮内地区と桜木地区です。

【宮内】

月間行事

・リラクゼーション（2か月に1回）

・あがらいん茶や（お茶会、2か月に1回）

・なごみの会（手芸・料理など、月1回）

カラオケを楽しむ会

広く参加者を募るため、午前中の回と夜の回の月2回開催しています。

ダーツ（月1回）

広瀬川倶楽部さんの企画のもと、3つのミニゲームの総合得点で競っています。2～3時間ほど、かなり集中して投げ続けるので、1万歩の運動量にも匹敵するそうです。また3本ごと投げて得点を出すので、計算のトレーニングにもなっています。

毎回白熱する行事になっています。

【桜木】

年間行事

・敬老会（9月）

・芋煮会（10～11月）

月間行事

・カラオケ（月1回）

・ものづくりの会（毎週水曜）

菜園（希望者、敷地の一角を使った野菜の栽培）

最後に

取材にご協力いただいた皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

史都多賀城万葉まつり

日本最古の歌集『万葉集』の編者であった大伴家持をしのぶお祭りです。万葉衣装をまとった万葉行列をはじめ、ステージでは古代横笛の演奏や万葉の舞の披露、家持の歌の朗詠などが行なわれます。また、茶席や「万葉蹴鞠射的(キックターゲット)」などのブースも設けられ、毎年にぎわいを見せています。

秋の訪れと、史都・多賀城の風情を感じられる一日となるでしょう。ぜひ足を運んでみてください！

日時　：10月7日(日) 10:30~16:00
場所　：東北歴史博物館
　＊万葉行列 13:00~14:40
　　高崎中学校~東北歴史博物館
アクセス：JR国府多賀城駅から徒歩5分
問合せ先：史都多賀城万葉まつり実行委員会
　TEL 022-368-1141

今後の予定

○団だより11月号　10月28日(日)配布

Let's ガーデニング！ チョコレートコスモス

名の通りチョコレートを思わせる香りをもつ、シックな花が特徴の多年草です。見た目と香り、どちらにも魅力あるチョコレートコスモスをこの機会にぜひ育ててみてください！

今回は苗木からの育て方をご紹介します。

◆植え付け

①鉢に鉢底石をしき、土を1/3ほど入れます。

②苗をポットから取り出し、根の周りの土を手でほぐさずに鉢の中心におきます。

③苗の周りを土で埋め、水やりをして土に固定します。

◆管理

日当たりと水はけのよい場所で育てます。夏は直射日光を避け、冬は防寒に注意しましょう。

◆水やり

春から秋の生育期には、土の表面が乾いたらたっぷりと水をあげます。

冬の休眠期には、地上部は枯れてしまいますが、球根部は生きています。根腐れを起こさないよう、土が乾いたら数日待って水やりをします。

◆肥料

生育期に、10日に1回ほど液肥を施します。様子を見ながら調節してください。